

リーディングDXスクール事業【実践事例】

長沼町立長沼中学校(北海道)

【取組内容①】 学習活動支援ソフト等を活用した音楽科の授業実践

アルトリコーダー

課題: アルトリコーダーでアンサンブルを楽しもう

今日のめあて: (10月 日)

情報分析、整理、練習

- ① 運指を確認しながら吹いてみる。
- ② 自分に必要な情報は、次のページに資料としてまとめていく。
- ② 「カノン」の各パートを練習する。

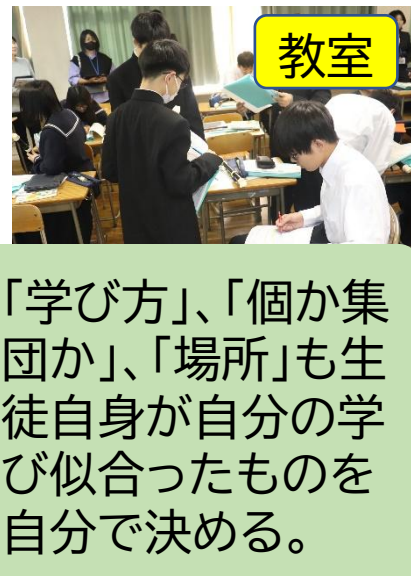
まとめ、表現

- ① 「カノン」の挑戦したパートを演奏し、録音し提出する。
- ② 自分の演奏を振り返り、次回の課題を見つける。

全体の課題に対して、個人のめあてを各自が設定
→個の学びの設定

全体の流れを最初に提示
→個人で見通しを持ち、タイムマネジメントも行う

学習形態は自分で選択→自分に合った学び方
課題は録音して提出→自分のベストを提出



中学1年音楽科の実践では、全体の課題に対し、生徒一人一人が個のめあてを設定し、提示された流れに沿って、自分の学びをマネジメントします。学び方、学習形態、場所等も自分で選択します。教師の役割は、全体の流れを調整することや、生徒同士の学びをつなぐことが中心になります。演奏を録音して提出することで、生徒全員が取り組む時間を均一化できます。また、教諭が評価する際は、いつでも、何度でも聞くことができます。